



(公財) 熊本県移植医療推進財団
 熊本県熊本市東区長嶺南2丁目1-1
 熊本赤十字病院 社会課内
 2021年4月発行
<https://kumaisui.jp/>

新型コロナウイルス感染症流行による臓器提供への影響

臓器提供は、昨年と同じ時期に比べ、4割減少している状況です。家族から臓器提供を希望された件数は、昨年と比較しても変化はみられませんが、医療従事者からの臓器提供に関する情報提供の件数が減少しています。その背景には、やはり新型コロナウイルス感染症流行によって医療従事者の負担が増加している事が考えられます。

臓器提供が減少したことにより、移植の機会に恵まれたレシピエント（移植患者）も減少しました。

【全国の臓器提供件数】 2019年 ⇒ **125件** 2020年 ⇒ **77件**

【全国の臓器移植件数】 2019年 ⇒ **480件** 2020年 ⇒ **318件**

脳死下臓器提供施設の紹介

「死」には、脳死と心臓死があり、それぞれ提供できる臓器が違います。脳死下では、7種類の臓器（心臓・肝臓・眼球・腎臓・脾臓・肺・小腸）が提供でき、最大11人が移植を受けられます。

脳死後の臓器提供ができる医療施設は、必要な体制が整備された高度な医療を行う施設とされ（臓器移植法のガイドライン5類型に該当）、県内では右記の病院で脳死下臓器提供体制を整えています。

熊本県内の脳死下臓器提供施設

熊本大学病院
 国立病院機構熊本医療センター
 済生会熊本病院
 熊本赤十字病院
 熊本総合病院
 熊本労災病院

▶ 今回、八代市にある独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院（猪股裕紀洋院長）の脳死下臓器提供チームにお話を伺いました。新しい認定施設の取り組みについてご紹介します。

熊本労災病院は、病床数410床を誇る県南に位置する総合病院です。2019年4月脳死下臓器提供施設に認定されました。移植医の猪股院長をはじめ、院内コーディネーターは県内最多約20名が在籍しています。脳死下臓器提供の実績はまだありませんが、シミュレーションを行い、院内コーディネーター同士連携して対応していくとお話いただきました。臓器提供・献眼に理解ある病院であり、院内のデジタルサイネージにも啓発ポスターが取り込まれています。移植外来もあり、随時相談を受付けています。他院に紹介する仲介的な役割を担う外来です。臓器・献眼の普及啓発も今後は入院患者への説明に取り入れることを検討されており、一人でも多くの命を救いたいという使命感を感じました。

※ 次回は、熊本総合病院に伺う予定です。



熊本県視能訓練士の会 会長の声

くもと森都総合病院 認定視能訓練士 富士登 謙司氏

※県内の移植医療に携わる方をご紹介します

皆さん「視能訓練士」という国家資格をご存知ですか？

視能訓練士（Certified Orthoptist : CO）は、眼科領域における医療専門技術者として、眼科医との連携を図り、乳幼児からお年寄りまで世代を超えて、眼科検査（視力検査や眼圧検査など）、視能矯正（こどもの斜視や弱視の検査や訓練）、健診（3歳児健診への参加）、ロービジョンケア（見え方の不自由な方へのリハビリテーション）などを通じて大切な目の健康管理を行っています。

全国に約17,000名、熊本県内に約120名の視能訓練士が大学病院や総合病院、開業医に勤務しています。

当院は多くの角膜移植を行なっていますので、私は視能訓練士としての業務のほかに、移植医と当財団のアイバンクコーディネーターとの連絡調整、角膜移植待機患者の管理、移植を受けられた方へサクスレターの依頼などを行っています。

移植手術前後の患者さんとの関りの中で、「角膜移植は単に視力を回復させるばかりでなく、患者さんの人生や心に明るい光をもたらす」ことを日々実感しています。

今後も、移植医療の啓蒙に力を注いでいきたいと思います。

（公財）熊本県移植医療推進財団 移植推進委員



熊本県ライオンズクラブ国際協会337-E地区献眼者合同献花式

令和2年11月18日（水）、熊本市動植物園献眼者顕彰碑前において、ライオンズクラブ主催の献眼者合同献花式が、ライオンズクラブ会員、財団事務局員の出席のもと、しめやかに執り行われました。

顕彰碑は熊本県ライオンズクラブ国際協会337-E地区の方々により、約33年前に設置。献眼された方を偲び、献花式が毎年、慰霊式が数年に1度行われています。



財団に寄せられたご質問

Q

子どもの臓器は必ず子どもに提供されますか？

A

移植する患者の選択には、医学的に厳しい基準が定められています。もちろん、お子さんが優先される条件などもあります。提供される臓器によってはサイズを合わせる必要があるため、大人なみの体格があるお子さんから提供された臓器では大人に移植される場合もあります。

Q

献眼の際、角膜を摘出する以外に何か処置はしますか？

A

移植に使用できる角膜が確認するために、5cc程の採血を行います。
（感染症の検査時に使用します）



あ た た か い 善 意

あ り が と う



賛助会員 ご芳名

皆さまにご協力いただきました賛助会費につきましては、当財団の会費等規定により、全て公益目的事業（移植推進）に使用が定められています。

2020/2/1～3/31

<令和元年度 未報告分>

2021年3月末現在（敬称略・順不同）

■法人会員 計 6口 60,000 円

かまた眼科 (2口)
 熊本大学大学院生命科学研究部 泌尿器科学講座 (2口)
 いけだ泌尿器科・内科 (1口)
 浄土真宗本願寺派 法光寺 (1口)

■個人会員 計 4口 12,000 円

塚田一博 (1口)
 塚田邦子 (1口)
 鹿子木裕二 (1口)
 匿名希望 (1口)

2020/4/1～2021/3/31

<令和2年度分>

■寄付 計 4,800,000 円

一般財団法人 化学及血清療法研究所 4,000,000円
 熊本県ライオンズクラブ国際協会337-E地区献眼献腎献血運動協力会 300,000円
 熊本赤十字病院 500,000円

■法人会員 計 39口 390,000 円

株式会社大塚食品 (5口)
 医療法人宮嶋会 みやじま眼科 (3口)
 熊本白門ライオンズクラブ (3口)
 一般社団法人 熊本県歯科医師会 (1口)
 医療法人ウェルビーイング 健軍熊本泌尿器科 (1口)
 医療法人眼科 古嶋医院 (1口)
 医療法人社団愛育会 福田病院 (1口)
 医療法人社団育史会 玉名泌尿器科クリニック (1口)
 医療法人社団坂梨会 阿蘇温泉病院 (1口)
 医療法人社団坂梨会 阿梨花病院大津 (1口)
 医療法人社団サクシード (1口)
 医療法人社団仁誠会 (1口)
 医療法人社団永芳会 永芳医院 (1口)
 医療法人創起会 くまもと森都総合病院 (1口)
 医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院 (1口)
 医療法人宮本会 (1口)
 株式会社ファーマダイワ (1口)
 菊池ライオンズクラブ (1口)

熊本県腎臓病患者連絡協議会 (1口)
 熊本県製薬協会 (1口)
 熊本大学大学院生命科学研究部 泌尿器科学講座 (1口)
 国立病院機構 熊本医療センター (1口)
 税理士法人 さくら熊本パートナーズ (1口)
 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院 (1口)
 独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター (1口)
 独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院 (1口)
 熊本サンライズライオンズクラブ (1口)
 熊本ライオンズクラブ (1口)
 肥後東ライオンズクラブ (1口)
 山都ライオンズクラブ (1口)
 有限会社 大和ゴルフ熊本 (1口)

■個人会員 計 156口 468,200 円

武藤宏一郎 (4口)	島清房 (3口)	樋口義則 (3口)	荒木富久美 (2口)	小野美子 (2口)	右田昌宏 (2口)
井清司 (3口)	徳永晴樹 (3口)	平田稔彦 (3口)	岩崎寛智 (2口)	寺田章三 (2口)	宮川健一郎 (2口)
今辻麻美 (3口)	鍋倉康文 (3口)	松金秀暢 (3口)	上木原宗一 (2口)	西村紘一 (2口)	
越山靖夫 (3口)	早野俊一 (3口)	宮本雄一 (3口)	大津敬一朗 (2口)	東智子 (2口)	
赤松薫 (1口)	勝目康裕 (1口)	佐藤康子 (1口)	中村圭輔 (1口)	平井克樹 (1口)	横溝博 (1口)
浅井栄敏 (1口)	川添輝 (1口)	篠原妃代 (1口)	長野章子 (1口)	富士登謙司 (1口)	吉竹倫賢 (1口)
荒木伸一 (1口)	河野龍一 (1口)	菅原文志 (1口)	鍋田明徳 (1口)	古瀬昭夫 (1口)	吉田清美 (1口)
荒木英行 (1口)	川端知晶 (1口)	杉田貞治 (1口)	鳴瀬信一 (1口)	本田大輔 (1口)	吉野雄一郎 (1口)
有富樹里 (1口)	北田英貴 (1口)	瀬戸浩司 (1口)	二階堂輝男 (1口)	増永博和 (1口)	吉元和彦 (1口)
池本智一 (1口)	木田哲次 (1口)	竹熊与志 (1口)	西名武士 (1口)	松尾繁 (1口)	渡高德 (1口)
井翔一郎 (1口)	木下航平 (1口)	田中栄治 (1口)	西村江未 (1口)	松崎幸子 (1口)	渡真由美 (1口)
岩下昇平 (1口)	草野雄貴 (1口)	田中恵津子 (1口)	西村浩一 (1口)	松永正憲 (1口)	熊本赤十字病院 衛生材料科 2021年7月曜日 匿名希望 (1口)
上田栄治 (1口)	楠本加奈子 (1口)	田上理江 (1口)	西村真理子 (1口)	松前貴美子 (1口)	
上野みね子 (1口)	工藤真励奈 (1口)	高濱信利 (1口)	西村友李 (1口)	眞鍋哲郎 (1口)	
大川正晃 (1口)	熊野清徳 (1口)	塚田一博 (1口)	迫英治 (1口)	宮川貞雄 (1口)	
大塚正法 (1口)	桑原謙 (1口)	塚田博年 (1口)	迫知世 (1口)	宮田昭 (1口)	
大坪太 (1口)	江田正志 (1口)	角田隆輔 (1口)	迫文 (1口)	宮本和彦 (1口)	
緒方和子 (1口)	興梠美智子 (1口)	遠竹弘久 (1口)	橋本ひとみ (1口)	村田貴幸 (1口)	
緒方聖友 (1口)	酒井崇 (1口)	遠山由貴 (1口)	長谷川秀 (1口)	橋本慎太郎 (1口)	
緒方祐子 (1口)	櫻森智也 (1口)	富永智子 (1口)	濱之上哲 (1口)	門東賢志 (1口)	
奥野繁樹 (1口)	定永道明 (1口)	豊田麻理子 (1口)	林友子 (1口)	山崎圭之助 (1口)	
稼僚子 (1口)	佐藤真由美 (1口)	中野政幸 (1口)	林弘毅 (1口)	山田兼史 (1口)	

財団活動報告

2020年度はコロナウイルス感染症の影響で、各種イベントが次々に中止となり、対面での普及啓発が難しい年となりました。そんな中でも、ポスターやパンフレットが県内に行き渡るよう、可能な限り、面会が可能な病院への訪問や、団体へ資料の送付、ポスター設置を依頼し、広報活動に努めました。幅広く移植医療への関心が増えることを期待しています。



熊本保健科学大学様



熊本県薬剤師会館様



熊本大学病院眼科医局様



御船ライオンズクラブ様



熊本県立大学様

※本年度は学生へのパンフレット配布も計画しています。

※ポスター掲示やパンフレット設置も重要な普及啓発です。
設置可能な方はご連絡下さい。お届けします。

賛助会員募集中

～移植医療にご支援ご協力をお願いします～

移植医療の広報活動、角膜摘出にかかる費用は、多額の経費が必要です。この経費は、賛助会費収入、寄付金などでまかなっています。一人でも多くの移植を待っている方へ「思い」が届けられますよう、温かいご支援をお願いします。

※賛助会費・寄付金は申告により所得控除の優遇措置が受けられます。



手数料無料の振込先

賛助会費	法人会員	年会費	1口	10,000円	銀行名	ゆうちょ銀行	
	個人会員	年会費	1口	3,000円	口座名義	公益財団法人 熊本県移植医療推進財団	
寄付金	金額は問いません				口座記号	01740-1	口座番号 145335

24時間対応

万が一不幸があった場合の連絡先

臓器提供

- 熊本県臓器移植コーディネーター
☎ 080-2759-9467
- 公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
☎ 0120-22-0149

角膜提供（献眼）

- 熊本赤十字病院
☎ 096-384-2111

県内の献眼状況

●献眼件数	9名
●角膜移植を待っている方	117名
●角膜移植を受けた方	13名
令和2年度累計	

※臓器提供・移植状況は日本臓器移植ネットワークのホームページをご覧ください。

【問合せ先】

公益財団法人 熊本県移植医療推進財団
熊本赤十字病院内 社会課

☎ 096-384-2198（平日 8:30～17:00）
ご質問・資料請求 ホームページからも申請可

